

江州音頭だより

第47号

令和3年3月22日発行

こちらから
ホームページへ

滋賀県江州音頭普及会事務局

<http://go-shu.biwako-visitors.jp/>

〒520-8577 大津市京町四丁目1-1 (滋賀県観光振興局内) TEL 077-528-3741 / FAX 077-528-4877

江州音頭、ネタツアー & QRコード埋込披露イベント開催

QRコード埋込披露イベント開催

尼子江州音頭普及会 桜川 捨晴
木村 晴夫(甲寅町)

去る十二月二十二日、荒神山自然の家において滋賀県江州音頭協会主催、ネタツアー及びクラフトビールQRコード埋込披露イベントを開催しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、夏祭り等が軒並み中止となり、オンラインでのイベントとなっており、なかなか「江州音頭」を見てもらえる機会が少ない状況でした。そんな中、何か江州音頭の普及に繋がることが出来ないかと、滋賀県江州音頭普及会が、ヒノブルイニング(株)と連携し、江州音頭をテーマとしたクラフトビールの製造に取り組んでいました。このビールの製造の中では、私たちに江州音頭の法被等を着て、ビール片手に乾杯の写真要請もあり、瓶のラベルQRコードを読み取ると江州音頭が流れる仕組みとなっています。

また、例年通り滋賀県江州音頭協会にて「滋賀県芸術文化祭参加事業」に参加し、滋賀県知事(代理・大野県議会議長)より、滋賀県芸術文化祭奨励賞を左記の方々が受賞されました。

江州音頭踊り部門
個人の部 豊郷町江州音頭保存会

藤野 恵津子
団体の部 スターダスト河内

同時にこの行事に、滋賀県南京玉すだれ保存会の表彰もありました。

玉すだれの部
個人 数本珠代

今回のイベント参加者は会員の天津江州音頭保存会十名、真鍮家文好門会八名、スターダスト河内六名、豊郷町江州音頭保存会十五名、尼子江州音頭普及会十名、他：総勢八十六名での実施となり、当日遠方へ参加者は宿泊をしました。コロナ禍の為、消毒、フェースガード、検温等、万全の感染症対策を準備しました。

二日間、普及会員及び協会会員の懇親も計れ、有意義なネタツアーでした。

江州音頭、ネタツアー イベント開催!

あいの土江州音頭保存会
奥部 和子(土山町)

秋極まり冬の気配が立ち始める十一月二十一日、二十二日、江州音頭ネタツアーを企画したところ参加者八十六名と御来賓のご臨席を賜り盛大に開催する事ができました。

今年度はコロナの影響で心身共に負担の多い状況の昨今ですが、江州音頭協会も諸行事が中止になり、唯の行事となりました。ネタツアーでは「検温」「手指の消毒」「マスク」「フェースガード」を準備して万全を期して開催



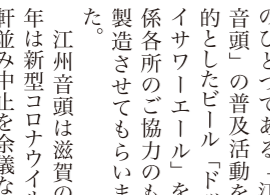
「ネタツアー&クラフトビール 披露イベント」

龍神家一門会 桜川 花山
立花 守(甲寅市)

年に一度の江州音頭ネタツアーは、新型コロナウイルス禍の中、11月21日「荒神山自然の家」において、感染症予防のフェイスマスクを着用の上今年初めてのイベントでした。来賓の方々、滋賀県議員会議員様、滋賀県人会会長様、ヒノブルイニング様、普及会事務局様の前での開催は大変意義深いものがありました。荒神山神社は、火・かまど(台所)の神社とお祓いの神社が祭られている神社「荒神さん」と呼ばれ親しまれて広く崇拝されています。



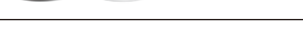
フアイヤールの儀式も執り行われました。この日は強風でまるでコロナウイルスを吹き飛ばしてくるかの様な神風が吹きました。総勢約50名の音頭取りや踊り子さんたちが、風にも負けず一生懸命盛り上げてくれました。この活躍ぶりにはさすがに江州音頭の絆と力強さだと感動しました。この閉塞感の中で活動は本当に素晴らしいことだと思います。機会があればこうして江州音頭で皆さんを元気づけられればと思います。



滋賀の伝統芸能のひとつである「江州音頭」は、各地の夏祭りや納涼祭には欠かせない楽しみひとつであり多くの県民の皆さまから愛され守られてきた滋賀の財産です。しかし、音頭取りなどの高齢化に伴う後継者不足など問題も抱えています。また、今年度は新型コロナウイルスの影響により、江州音頭を披露する場は軒並み中止を余儀なくされました。そういった中、江州音頭の存在を知ってもらえるかを考え、今回、ヒノブルイニング株式会社の協力をいただき「江州音頭」の普及活動を目的とした「ビール・ドックイサワエール」を販売させていただきました。このビールは、ボトルビール裏面のQRコードを読み込むと、江州音頭の映像が流れる仕組みとなっております。

このビールを通じて、一人でも多くの方が江州音頭に触れるきっかけとなれば幸いです。ヒノブルイニング(株)社長 田中宏明

今回、弊社では滋賀県の伝統的な民俗芸能のひとつである「江州音頭」の普及活動を目的とした「ビール・ドックイサワエール」を開発いたしました。このビールは、ボトルビール裏面にQRコードを埋込し、スマートフォンで読み込むと江州音頭の映像が流れる仕組みとなっております。このビールを通じて、一人でも多くの方が江州音頭に触れるきっかけとなれば幸いです。



小学校で江州音頭教室を実施

江州音頭普及会では、学校等から要望があれば出張で江州音頭講座を行っています(要事前申し込み)。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で多くの学校行事が見直され、滋賀の伝統芸能である江州音頭を学びたいと多くの申し込みをいただきました。今後も引き続き要望があれば、出前講座を行いますので気軽に江州音頭普及会事務局もしくは各団体へお問い合わせください。

今回、東近江市の三代目真鍮家文好(小椋祥行さん)が東近江市市原小学校に行かれた様子を紹介します。



市原小学校の四年生からお手紙を頂いたので紹介します

こんにちは。
先日は、江州音頭をおしえて下さりありがとうございました。
市原小学校だけの江州音頭を作った下さってとてもうれしかったです。
最初は、うまく歌えなかったけど、みささんが丁寧に教えて下さったのでとても上手に歌えることができました。ありがとうございました。
おどりで、みなさんがアドバイスや、おどる時のこつを教えてくださいました。そしてできたときに、「すごいわ。上手にできているよ。」と言って下さって、とても江州音頭が好きになりました。新がたコロナの中、このようなきかいをつくって下さりありがとうございました。
これからも、お元気でがんばってください。また教えてください。

こんにちは。
先日は、江州音頭を教えてくださいありがとうございました。
すごくうしろおんどがたのしくてびっくりしました。同じことを何回も続けているのですごく簡単でした。
これなら家でできるので、またやりたいです。
わたしは、おどりができるので、かしまみずにおぼえたいです。
これからもお元気でがんばってください。

こんにちは。
先日は、江州音頭を教えてくださいありがとうございました。
ぼくは、江州音頭をおどったことあるけど、ふく習えたのでうれしかったです。
「ソリヤ〜ヨイトヨーママカードッコイサーノセ〜」
などかけ声をおぼえることもできました。
あと、さくらがわひなさんという人が江州音頭をつくったのはじめて知りました。
あと市原小学校の江州音頭もおどったのでとても楽しかったです。
これからもお元気でがんばってください。また江州音頭も教えてください。

こんにちは。
先日は、江州音頭を教えてくださいありがとうございました。
ぼくは、江州音頭をおどったことあるけど、ふく習えたのでうれしかったです。
「ソリヤ〜ヨイトヨーママカードッコイサーノセ〜」
などかけ声をおぼえることもできました。
あと、さくらがわひなさんという人が江州音頭をつくったのはじめて知りました。
あと市原小学校の江州音頭もおどったのでとても楽しかったです。
これからもお元気でがんばってください。また江州音頭も教えてください。

子供向けの江州音頭教室情報

豊郷町江州音頭保存会	大津江州音頭保存会
講師: 藤野 恵津子	講師: 桜川 伯山
教室名: 豊郷町江州音頭保存会 子供教室	教室名: 大津駅前教室
対象: 小学生・中学校	対象: 小学生・中学生
場所: 豊郷町 豊栄のさと	場所: 大津市役所 遠坂支所 2F 第3会議室
とき: 毎月第三金曜日 19:30~21:00	とき: 毎月第一火曜日 17:00~18:00
受講料: 無料 備考: 扇踊り、絵日傘踊りの練習	受講料: 無料(子供に限る)
龍神家一門会	湖南祭文家サークル
講師: 桜川 花山	講師: 佐野 公治
教室名: 江州音頭 建部大社教室	教室名: 子供教室
対象: 小学生・中学生	対象: 小学生・中学校
場所: 建部大社 参集殿	場所: 湖南市石部コミュニティセンター
とき: 毎月第一木曜日 18:00~20:00	とき: 毎月第一土曜日 9:30~11:30
受講料: 300円/回	受講料: 無料

江州音頭だより 第47号 編集委員

伊藤耕造 / 小椋祥行 / 佐野公治 / 竹岡虎通
立花 守 / 田村義子 / 西村清子 / 松本敦三

編集後記 | 会員の皆様から活動報告など、たくさんのお便りをいただきありがとうございました。紙面作成にあたり、いただいたお便りの表現を編集部で変更させていただいたことをご詫言申し上げます。引き続き、会員の皆様方の活動報告や近況など、原稿を事務局までどしどしお寄せください。 あて先は下記まで。

〒520-8577 滋賀県大津市京町4丁目1-1 県庁観光振興局内
滋賀県江州音頭普及会事務局
TEL 077-528-3741 FAX 077-528-4877
E-mail ff00@pref.shiga.lg.jp

令和元年度 滋賀県江州音頭普及会事業実績書

江州音頭普及事業	2. 県内・県外普及活動参加団体等への助成
1. 情報発信事業 553,426円	500,000円
(1) 江州音頭普及パンフレット・チラシ等の作成 (81,000円) 江州音頭を広く一般に紹介し、江州音頭の普及を図るためのリーフレット等の配布については、在庫により対応。	(1) 江州音頭の県内での普及促進、さらには本県のイメージアップや観光振興につなげるため、県内で開催される観光展、物産展、コンベンション、イベント等を活用し、江州音頭の出張講演を行った団体に対し、その参加に要する経費について、助成金を交付した。
(2) 「江州音頭フェスタ in しが2019」の開催 (472,426円) 江州音頭愛好者のネットワークを拡げ、若い世代の愛好者育成と新しい時代にあった江州音頭を模索することを目的に、「江州音頭フェスタ in しが2019」を開催した。	(2) 江州音頭の県外普及をより促進するため、県外で開催されるイベント等に参加する団体に対し、その参加に要する経費について、助成金を交付した。
(財源 県補助金 450,000円)	(財源 県補助金 450,000円)
3. 江州音頭盆踊り大会の開催 1,000,000円	4. その他普及事業 94,600円
江州音頭の普及啓発のため、第38回江州音頭フェスティバル京都大会に対して負担金を支出した。	会報「江州音頭だより」を発行した。
(財源 県補助金1,000,000円)	5. 会議費・事務費 22,777円
	会議室借り上げ、その他会の運営に必要な銀行手数料等を支出した。

令和元年度 滋賀県江州音頭普及会事業収支決算書

区分	予算額	精算額	差引増減額	摘要
県補助金	1,900,000	1,900,000	-	
会費収入	250,000	245,000	△ 5,000	※1,000・245人
協力金等	100,000	29,990	△ 70,010	CD・DVD売上等
繰越金	65,255	65,255	-	
雑入	745	1	△ 744	預金利息
計	2,316,000	2,240,246	△ 75,754	

区分	予算額	精算額	差引増減額	摘要
情報発信事業費	600,000	553,426	△ 46,574	
パンフレット作成費	(100,000)	(81,000)	(△ 19,000)	
フェスタ開催費	(500,000)	(472,426)	(△ 27,574)	
県内・県外普及活動参加団体等への助成	500,000	500,000	-	
江州音頭盆踊り大会の開催	1,000,000	1,000,000	-	
情報連絡費	100,000	94,600	△ 5,400	会報発行
会議費	20,000	18,710	△ 1,290	
事務費	45,000	4067	△ 40,933	銀行手数料、チラシ代
繰越金	69,443	△ 69,443		
予備費	51,000	-	△ 51,000	
計	2,316,000	2,240,246	△ 75,754	

収入 2,240,246 - 支出 2,170,803 = 次期繰越 69,443円

江州音頭継承に思う

蓬萊家会 五代目 桜川 徳丸
伊藤 耕造(甲賀市)

私は五代目徳丸と申しまして、桶家二代目徳丸流れの派に属します。音頭取りを初めて四十数年経ちますが中々満足出来る音頭が取れません。しかし年月だけが過ぎ去ります。今振り返ると音頭取りなどの老齢化が進み継承者がいなくなるのではないかと。これは現在の音頭取りの責任ではないかと思っております。後世に残すには後世に伝えられる即ち教えられる人材の育成が必要と思う。江州音頭普及には人材を育てる事が欠かせないのではないかと。派閥を超えて音頭取りを育てる事が大切である。今活動されている音頭取り師の方に協力を依頼しては、協力者の応募をしては、誰が担当しても色々な意見が出ると思うが普及会の名において責任を持つと言う事で進行すれば良いのではないかと、教えて人材を自分の手中にしない事が必要である。微力ながらも私も参加したい。又、コンクールなどの開催、若い人中心のイベント開催を進めていきたい。個別の依頼も受けたい。

追記

徳丸の今の立場、継承する為に努力が不足している。音頭取りだけでなく踊り子衆を育て継承しなくては成らない。皆さんのご意見、案が頂ければ有り難いです。普及会会員としての責任と思っております。正しく江州音頭を伝える為にも音頭の構成、役節など基礎の勉強会開催が必要。音頭取りとして家号を名乗るのであれば、自分だけで終わってはいけない。自分を追い込むためにもご意見を願います。事務局に一報を。



津軽三味線全国大会に江州音頭の出演をして

滋賀県江州音頭保存会 桜川 陽湖
大和田 陽子(大津市)

三味線と津軽民謡の全国大会が毎年大津で開催されています。今年は浜大津の大津市民会館大ホールで十一月二十八日と二十九日実施されました。コロナ禍で観客は例年より少なかったものの、この2日間で百三十四名の出演者が2日とも朝9時30分から20時まで、全国から出演者が来られました。この2日間、途切れることなく三味線を中心とする大会に江州音頭の当保存会をしました。

練習もままならぬ中、先が見えませんが、二番心配なのが各地元などで開催される盆踊り。何もありません、役員さんが交代されて、引き継ぎがなかったり、一度来な方位傾くと、廃止になってしまうのではと危惧してしまいます。皆さんで関係者の方々と連絡などをしながら、少しでも出演場所をなくなくなるのを食い止めるように工夫をしましょう。

音頭のやれる場所があつての江州音頭です。経済も立ち行かなくなりつつあります。益々音頭場が消えゆく可能性があります。これはなかなか治るには時間がかかるでしょう。なかなか手こむことではないかと。

とはいえ、さあ再開出来るはともなう音頭がポロポロではいただけません。今こそ気合を入れ直して、今一度江州音頭の奥深い所を勉強し直しましょう。何も対面ばかりが練習でもありません。最近流行りのリモートでもやれるはず。かけ放題の契約をして、師匠の門を叩きましよう。練習ができたら、江州音頭のコンクールをやりたい。

2021年江州音頭だより

滋賀県立大学 湖風祭実行委員会企画部部長
清水 厚志(京都府)

滋賀県立大学では、去年の2020年は新型コロナウイルスの影響により湖風祭(うみかぜまつり)を開催することができませんでした。例年ですと、滋賀県の伝統芸能江州音頭を行い、滋賀県立大学の学生や江州音頭協会の方々だけでなく、彦根市の地域の方々も一緒に江州音頭を踊りました。皆で笑顔で江州音頭を踊ることで滋賀県立大学に地域の一体感が生まれ、よい思い出となります。しかし、その願いも新型コロナウイルスの影響で閉ざされてしまいました。

2020年11月18日(日)にはオンライン湖風祭を行いました。コロナ対策に重きを置き、YouTubeで配信を行うことでオンラインという形で湖風祭を実施することができました。自分自身初めての体験で戸惑う部分や分からない事もたくさんありましたが、とても良い経験になりました。

会から踊りグループ「豊郷町江州音頭保存会」に出演していただきました。江州音頭の発祥地の踊りを全国に大きな渦巻の傘踊り、華やかで上品な扇子踊り、又、見せるための美しい手踊り、この三つの踊りがステージ狭しと披露されました。

音頭取りは桜川梅玉様、ギター等豊富な楽器演奏のもと若手囃子方の皆様も含め、絵にかいた様な舞台でした。この三味線の大会には北海道から鹿児島、また海外からは台湾の演奏者さんも出演されました。出演時間は3分30秒でエントリ(出演料)は平均7000円です。



入賞目指して遠方の方は宿泊して、腕を披露されます。出場後、入賞の確認をしてお帰りになる方もあります。受賞の喜びはコロナも吹き飛ばす笑顔でした。どんなピンチにも芸術・芸能は努力が報われるのだなと思えました。

誰もが楽しく、みんなに愛される江州音頭を目指して微力ですが、私も協力していきたいと思っております。

東近江江州音頭会館オープン

東近江江州音頭普及愛好会 会長 三代目眞鍮家 文好
小椋 祥行(東近江市)

江州音頭だより46号で掲載していただきました東近江江州音頭会館が昨年8月30日にオープンしました。振り返ってみると、2月9日の太子ホールの発起人会には10人の有志が集まり、設立のための総会を行いました。まだ、コロナ感染も広がりはじめたところ、世界中がこんな大変な事になるうとは知るよしもありませんでした。

それから毎週のように会議を重ね、どうやら江州音頭の会館ができるという話が広がったのが、資料や備品も色々な方から提供していただくようになりました。オープンまでは毎日のように会館に出かけ、試行錯誤しながら手作りして何とか格好をつけることができました。しかし、がんばって工夫に工夫、いくら工夫を凝らしても、先立つものはやはり資金です。

ところが、設立趣旨書で資金カンパをお願いしたところ、多くの皆様から寄付を頂くことができました。この浄財があれば開館に至ることは難しかったと思います。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。次です。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響により文化

今年の湖風祭は6月19日(土)の予定です。今年こそは皆さんと江州音頭を踊り、地域の皆さんと江州音頭の伝統を継承していきたいと思っております。コロナ対策をしっかりして安心して安全に行おうと考えていますので皆さんで江州音頭を踊り、地域を盛り上げていきましょう!!

コロナ禍の江州音頭

あいの土江州音頭普及 福永 昭子(甲賀市)

昨年、「甲賀の昭和」と言う書籍が出版されました。昭和の街並みや、人々の暮らしが二日わかる写真全集です。そのなかで私は郷土芸能、江州音頭の頁に関わりました。当時は、農作業は勿論家事、育児、全て自身の労働力の日常でした。

そのなかで、女性達は、お盆の帰参を待ち侘び、在所で行われていた盆踊りは、何よりの息抜きでした。令和二年、コロナ禍のなか、地域でも行事は中止され、各会の運営も儘ならず、この閉塞感、過去の女性達の盆踊りを待ちわびる気持ちと、形は異なっても相通じるところがあります。

私も、県下の皆様と各地を訪問しました。普及活動に思いをこめて、踊る機会を考えていました。折しも、甲賀市レクリエーション協会で、例年のクリスマス会が開催されました。早速、江州音頭を踊ることを提案し、会長も同意され、会員も都めつせに参加する人もあり、元氣一杯踊ることができました。法衣や、お面も用意し一層盛り上がりしました。三密をさけ、窓を開け、マスク姿のこの江州音頭は生涯忘れない思い出となることでしょう。更に心身に共につきり江州音頭は、最高でした。本年は佳い年にと念じつつ...



湖国を代表する江州音頭

豊郷町江州音頭保存会 藤野 寛津子(豊郷町)

昨年の滋賀医科大学リレーフォーライフ・ジャパンはコロナウイルス感染予防の関係で、10月24日(土)25日(日)にネット配信により実施されました。

活動はほぼ停止状態となりました。ただ、ここで止まってしまうのは江州音頭もなくなってしまうという危機を感じて度々議論を重ねながら、4月に予定していた江州音頭会館の開館式を行う決心をいたしました。コロナ禍の中、市長はじめご来賓の方々にご臨席頂き、開館式並びにテープカットを行い、記念日演会として座敷音頭、棚音頭などを披露いたしました。会場には、最小限の人数でしたが、YouTube、Facebookでライブ配信いたしました。次々入ってくる「いいね」に手こたえを感じた瞬間でもありました。

またケーブルテレビや新聞各社にも掲載していただきましたし、ラジオの番組にも出演した結果、反響が大きくなり遠方からも来館者が来て下さるようになりました。市内の小学校からの見学や、市内の授業などの要望もいただき応えています。やはり市内の子供たちが、郷土芸能に興味を持ってくれることが一番の喜びであります。子供たちが届けてくれたお礼状は、われわれの宝物になっています。

十一月より毎月第一日曜日の十時から、座敷音頭を聴く会」と第一、第三日曜日午後二時から音頭取り教室を開催しております。募集規模を小さくせざる得ませんが、郷土芸能江州音頭は心の中に捨てがたいものとして伝わっていることを手ごたえとして感じている毎日です。今後の活動方針として、後継者育成の一つはあります。市内の大学や高校に呼び掛けて、ぜひ江州音頭の部活動、課外活動をしていただき指導に行く計画をしております。



コロナ禍、家で過ごそう

湖南祭文家サークル 桜川 貴美若
佐野 公治(湖南市)

カセットテープから流れてくる師匠の声は、僕の宝物!「繰り返して、何度か聞けよ!」とよく言われたが、そのテープが劣化するので、MDにダビングしたのだが、いつの間にかその便利なMDが何故か販売中止!?仕方なくSDカードにまたダビングし直し中なのだ(汗) ※コロナ禍が長引き祭事が殆ど無くなった今こそ録音して「家で過ごそう!」吹き込みに挑戦してCDに残してみたい。音頭取り、名だけ残して、声残さず?では寂しいですよ。

これは、学生が作るガン制圧と患者支援のチャリティーイベントで、がん医療についての講演や講座等が開催されました。その中で、滋賀県の伝統芸能である江州音頭を、発祥の地である豊郷町が、扇や絵日傘を持って踊る機会が得られて、全国に発信することができました。



盆踊りの思い出

大津江州音頭保存会 飯本 珠代(大津市)

滋賀県には主人の転勤に伴い、家族で移り住んで30年。子供達もここ大津で成長しました。しかし30年間は江州音頭との出会いは有りませんでした。昨年、大津駅近くに引越して、江州音頭のご縁をいただきました。私は大阪生まれの大阪育ちで、実家はスクールの一角にありました。夏休みも終わりに近づいた頃の楽しみは盆踊りでした。学校の校庭の真ん中に櫓が組まれ、放射線に提灯が張られ、普段は真っ暗な学校が賑やかな盆踊り会場にかわります。うちわをもち、浴衣を着た人達がソロソロと家の前を通って学校へと集まってきました。心もウキウキ、賑やかな河内音頭に誘われて友と行くのが楽しみでした。どう踊ったのかも覚えていませんが、あのワクワク感だけは今でも甦ります。江州音頭の成り立ちや掛け声の意味などを教えて頂きました。河内音頭もその流れを汲む物であるなど、興味深いお話を聞かせていただきました。

また、皆様の郷土愛に接し、是非、保存普及に力を入れていかねばと思っております。ここで育った子供達が将来何処で生活をする事になって、江州音頭の思い出が郷土愛と共に甦りますようにとこれからも活動に参加させていただきます。



普及会会員の皆さんがCDの吹き込みに挑戦すれば、レベルの底上げになり良いと思う!コロナ禍のイベントの一つとして、如何でしょうか?

20数年ぶりに復活

金念寺 江州音頭 鈴木 俊亮(東近江市)

金念寺の境内墓地には江州音頭を始め、櫻川大龍(西澤寅吉)と真鍮家好文(奥村九左衛門)の墓がある。平成15年には、門弟により「顕彰碑」も建立された。西沢寅吉は旅籠で板前修業していたころ、宿泊者の祭文語りから歌祭文を習った。「歌寅」と呼ばれ、余興に招かれた。

その後、武蔵国の櫻川雛山に出会う。「錫杖でなく「法螺貝」を使う「デロレン節」に刺激を受けて、「八日市祭文」を完成したようだ。弟子の真鍮家好文という協力者を得て、近江各地を回った。西沢寅吉は師匠の「櫻川雛山」の「櫻川」をもらい「櫻川大龍」と名乗った。

令和に入り、20数年ぶりに、金念寺境内で盆踊りが行われた。毎年、8月21日は、湖東地域では夏の興行が終わり、最終のお礼盆踊りが実施されていた。平成に入り、金念寺本堂改修工事が始まり、寺の境内での実施が不可能となり、しばらく野々宮神社で行われたが、支援体制が不備で、継続することが出来なくなった。令和に入り、「真鍮家門」の協力により、20数年ぶりに復活することが出来た。昨年(令和二年)はコロナ禍で、中止せざるを得なくなった。

念願の東近江市市立江州音頭会館が同じ金屋の地に誕生した。展示物が日ごと充実し、滋賀県の江州音頭センターとなりつつある。江州音頭教室も行われ、発祥地東近江市から、全国に発信という意気込み。菩提寺金念寺としても感謝している。

江州音頭の黎明期?

玉室三代目家元 櫻川好玉会 櫻川 好玉
竹岡 虎通(伊賀市)

江州音頭のみならず、有りともあらゆるものに影響を及ぼした憎き新型コロナウイルス。皆さんはいかがお過ごしでしょうか。樽も舞台もちよつとした会合の余興でさえ、なくなってしまうかもしれません。今年も? こんな調子?

コロナ対策明るく歌おう 江州音頭「笑門来福」不許複製

作詞・節付 桜美家 天勝
深尾 勝義(近江八幡市)

世の中、持ちつ持たれつだ。伊勢は津で持つ、津は伊勢で持つ、尾張名古屋は城で持つ、名古屋帯は紐で持つ、コロナ追い出す手綱持つ、みんな笑顔で希望持つ、窓を開けよう、換気で元氣、扉も開けて、気持ち大きくオープンで、楽しいから笑うんじゃなく、笑うから楽しいんだ、笑う門には福来る、もらつてうれいものがある、もらいたくないものもある、来るな! コロナ! だいきらい! スイホームで、新たな絆、家族で話す、よい機会、感染予防は「三密」やめて密閉、密集、密接あかんスマホにパソコン、タブレット、離れた人との優れもの、コロナが気になる生活は、近づかないよう要注意、一人一人の心がけ、準備しておけ、チャンスは来る、成功するには最後まで、あきらめないを合言葉、楽しいことは率先して、最後に喜ぶ人になれる、歌を唄うと心が晴れる、声は腹から出すがよい、江州音頭があるでしょう

今、私たちに出来る事、コロナに負けない事、免疫力でアップしよう

尼子江州音頭普及会 桜川 捨晴
木村 晴夫(甲良町)

コロナ、コロナで、外出も控えなければならぬ、運動不足になりがちです。そこで、二つ運動を紹介します。一つ目は太極拳から曲を江州音頭「花の生涯」の唄を入れて「練功十八法」で彦根の空に響え立つ、天守閣こそだれある、御高三十と五万石... 二つ目はコロナ替え歌&体操、これはライン仲間から、届いたもので、上を向いて歩こうの曲から、上を向いて歩こう、上を向いて歩かない様に、思い出すSARSの日、それ以上の感染力、上を向いて歩こう、コロナに負けないように、手洗いと、うがいと... (コロナ撲滅を願いオンラインで広がる皆んなの笑顔...) 以上、スマホでQRコードを読み取り元氣を取り戻し江州音頭の普及活動、宜しくお願ひします。

